
死神のルール

早川 眞治

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

死神のルール

【Nコード】

N9521B

【作者名】

早川 眞治

【あらすじ】

死神には、命を奪うだけじゃないルールが存在する。

（前書き）

声ができる…の迎えに来た人の話になります。

死神と云うと冷血に万物の命を狩る者と思われる。

しかし、ただ人の命を奪う以外に生かすと云う仕事がある。

話しかけて生きたいか逝きたいかを問い返答次第で連れていく。

そして、これは、一人の死神の話。

「うーん…面倒だな」大きな鎌をかつぎながら町中を歩いているが誰にも見えない。彼は、死神だから。

「えーっと…？岩井茂樹…首つり自殺を図って昏睡状態…か。多分帰んねえだろうなあ」そう呟きながら岩井茂樹の元へと向かった。

「えー…アナタが岩井茂樹さんですか？」公園のベンチに腰をかける男に話しかけた。

「ひいつ―」岩井という男は、小さく悲鳴を上げる。

「まあまあ落ち着いてー怪しい者じゃないからさー」黒装束に大きい鎌を持った彼を見てさっきまで俗世間にいた人間が驚かないはずがない。

「あつ…アナタは…？」恐る恐る聞いてくる。

「ボクは、んー人間で云うところの死神？」人間の中の死神は、命を奪う者と認識されているので疑問系になってしまう。

「ああ…私…死んだんですね…」哀愁漂うオジサマですね。

「えーアナタには、二つの選択肢があります」

「えっ…？」岩井が驚いている。そりゃあそうか。死神〃死であり選択肢があるなんて思わないだろうからね。

「あんね？このままボクに送ってもらいたいかーまだ生きたいかの二つ」適度にはしよって云う。

「えっ…？でも死神は…」ぽかんとしながら呟く。

「あー人間が考えてる死神は、少し違うんだよー。命を奪うのと生かすのが仕事でそれも本人次第なわけ」そう説明すると、岩井は、

なにか呟いている。

「どうせ…私がいなくなっても世界は、変わりませんし戻ったっていいことありませんから…連れて行って下さい」岩井が立ち上がりながら云う。

「いいんだね？」もう一度確認をする。

「はい」その返事で岩井茂樹と云う男の人生は、終わった。だが死神には、まだまだ仕事がある。

「次は…？村越優…えっと？自動車に引かれて昏睡状態」そして、村越優の元へ向かう。

コツコツ―病院の廊下は、音が妙に響く。

ガラッ―病室の扉が開いて中から医者が出てきた。それを無視して中に入る。どうせ見えないからな。

「―っ」中に入り 村越優の存在を確認する。10歳くらいの少年だった。

この若さで逝かせたくない…。助ける。少年は、目が見えないようだった。

「行きましょう」優しく優しく云う。

「誰なの！？行ってくてどこに！？」少年は、脅えている。

「アナタは、車に引かれたのだから…助けに来たんだよ」最後のセリフは、聞こえたかわからない…。

「イヤだ！！帰って！！」この子…そんなにイヤな事があったのか？

「本当に来ないの…？」ボクは、悲しくなった。

「行かない！！帰って！！」完全な拒絶。ボクは、少年の命を奪う。

（ごめん…生まれ変わって楽しく生きてね…）

そして、死神は、新たな人がいる場所へ向かって歩き出した。

（後書き）

あーどうも皆さん今日は
なんと云いますか！。今回は、最初に公開した小説の死神の話を書いてみました。今回も深く書けていないのですがwww
だいぶ削ってますし何が云いたいのかわからないかもしれませんが…
が読んで下さいまして有り難うございます。では、またお会いしましょう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9521b/>

死神のルール

2010年10月31日02時29分発行